

### 3. 平成25～27年度入学者用

#### (1) 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数

学部	入学年	人文・社会科学系科目群	自然・応用科学系科目群	外国語科目群	現代社会適応科目群	拡大科目群	合計単位数	備 考
総合 人間	平成25 ～27	特に定めなし (総合人間学部便覧を参照してください)		12単位以上	特に定めなし (総合人間学部便覧を参照し てください)	単位互換等科目は卒業に必要な 単位として認定しない (総合人間学部便覧を参照し てください)	外国語科目群 のみ単位数の 定めあり	※外国語科目群の履修方法については、「全学共 通科目履修の手引き」に掲載されている学部の指 示事項及び「5. 外国語の履修について」の内容 に従って、科目を選択してください。 ※日本語を選択できるのは外国人留学生だけとし ます。
				EDFCRISKA日のうち から12単位以上 ただし、1外国語から6単位 以上、その他の1または2外 国語から6単位以上				
文	平成25 ～27	8単位以上	6単位以上	16単位以上	人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、現代 社会適応科目群、拡大科目群から自由に計36単位以上 (ただし、人文・社会科学系科目群から8単位、自然・応 用科学系科目群から6単位以上修得すること)		52単位以上	※外国語科目群でEを履修する場合、8単位のう ち2単位については、文学部提供全学共通科目 「文学部英語A」・「文学部英語B」(各1単位 ずつ)を修得すること。「文学部英語A・B」単 位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。 ※外国語科目群で、E以外の外国語を履修する場 合、初級から4単位以上、中・上級から4単位以 上修得すること。なお、スペイン語I(会話) は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定 しません。 ※アラビア語は平成26年度以降入学者のみ卒業に 必要な単位として認定します。
		上記必要単位数を含め、人文・社会科学系科目群、自然・ 応用科学系科目群、現代社会適応科目群、拡大科目群から 自由に計36単位以上修得すること		EDFCRISKA※のうち からEDFいずれか一つを含 め2カ国語それぞれ8単位以 上				
教	平成25 ～27	14単位以上	6単位以上	16単位以上	人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、現代 社会適応科目群、拡大科目群(単位互換等科目を除く)か ら計40単位以上 (ただし、人文・社会科学系科目群から14単位、自然・ 応用科学系科目群から6単位以上修得すること)		56単位以上	※外国語科目群でEを履修する場合、英語I、 II、英語(教育科学)のうちから8単位(8単位 のうち2単位は、「英語(教育科学)」を必ず含 むこと)。2年生配当科目「英語(教育科学)」 は、前後期1科目ずつ履修すること(2単位のみ 認定)。「英語(教育科学)」単位未修得者は、 (2)各学部の指示事項参照。 ※外国語科目群で、E以外の外国語は初級から4 単位、中・上級から4単位修得すること。なお、 スペイン語I(会話)は、外国語科目群の卒業に 必要な単位として認定しない。
		人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群の必要 単位を満たしたうえで、人文・社会科学系科目群、自然・ 応用科学系科目群、現代社会適応科目群、拡大科目群(た だし、単位互換等科目を除く)から自由に20単位選択し て計40単位以上履修すること		EDFCRISKAのうちか らEDFいずれか一つを含め 2カ国語それぞれ8単位以 上				
法	平成25 ～27	20単位以上	6単位以上	16単位以上	6単位以上	単位互換等科目は卒業に必要な 単位として認定しない	48単位以上	※E8単位のうち2単位については、「法学政治 学英語I・II」各1単位を修得すること。「法学 政治学英語I・II」単位未修得者は、(2)各学 部の指示事項参照。
		法学部基礎演習を修得した場合 は、人文・社会科学系科目 群の単位として扱う。		E8単位、およびDFCRI SKAのうち、いずれか1カ 国語8単位以上	人文・社会科学系科目群、自 然・応用科学系科目群、拡大 科目群(単位互換等科目は除 く)の科目で代替可能。 ただし、拡大科目群の科目に よる代替は4単位を上限と し、そのうちスポーツ実習科 目による代替は2単位を上限 とする。			
経	平成25 ～27	10単位以上	8単位以上	16単位以上	2単位以上	4単位以上	40単位以上	※外国語科目群でEを履修する場合、8単位のう ち2単位については、「経済英語A・B」いづれ かで修得すること。「経済英語A・B」単位未修 得者は、(2)各学部の指示事項参照。 ※スペイン語I(会話)は、卒業単位として認め ない。 ※外国語科目群で、日本語は外国人留学生のみ選 択することができる。
				EDFCRISKA日のうち から2カ国語それぞれ8単位 以上		ただし、単位互換科目は認め ない		

学部	入学年	人文・社会科学系科目群	自然・応用科学系科目群	外国語科目群	現代社会適応科目群	拡大科目群	合計単位数	備考	
理	平成25～27 共通	<b>専門基礎科目（理学部が指定した【全学共通科目】と【理学部学部科目】）</b>							
	平成25～26	12単位以上20単位まで		10単位以上12単位まで	0単位以上4単位まで		46単位以上74単位まで	※ 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) は、自然・応用科学系科目群以外の科目を履修した場合に、それぞれの群で卒業に必要な単位として認める。 ※日本語は外国人留学生のみ認める。	
		拡大科目群の少人数教育科目（ポケット・ゼミ）をふくめてもよい。 ただし、人文・社会科学系科目群の6つの系（哲学・思想系、歴史・文明系、芸術・言語文化系、行動科学系、地域・文化系、社会科学系）から3つ以上の異なる系の科目を修得すること。		Eは6単位必修 それ以外の外国語（DFCR I SKA日）から同一の外国語4単位、この4単位を取得した上にさらに2単位まで（英語以外のどの外国語でもよい）合計4単位以上6単位まで	現代社会適応科目群及び拡大科目群（少人数教育科目（ポケット・ゼミ）、単位互換等科目を除く）0単位以上4単位まで。 ただし、専門基礎科目に指定した全学共通科目を除く。				
	平成27			10単位以上13単位まで	46単位以上75単位まで				
		Eは6単位必修とし、7単位まで。 それ以外の外国語（DFCR I SKA日）から同一の外国語4単位、この4単位を取得した上にさらに2単位まで（英語以外のどの外国語でもよい）合計4単位以上6単位まで							
医<医>	平成25	20単位以上	16単位以上	12単位以上	4単位以上	単位互換等科目は卒業に必要な単位として認定しない	52単位以上	※1 「数理統計」未修得者は「統計入門」を履修すること。 ※2 医学部医学科が自然・応用科学系科目群として認める科目、及び各科目の領域については、医学部が別途配付する修得すべき各領域の科目指定表により確認すること。 ※3 「科学英語（医学）」単位未修得者は、（2）各学部の指示事項参照。 ※4 平成27年度末時点で「医学概論」未修得の学生は、履修にあたって別途医学部教務・学生支援室に確認すること。	
		うち2単位は現代社会適応科目群、拡大科目群（ただし、単位互換等科目を除く）で代替可能	数学、物理学、化学、生物学の4領域の中から少なくとも3領域を選び、必修科目「統計入門」2単位※1及び選択必修科目6単位以上を含む計16単位以上※2	「科学英語（医学）」2単位を含むE8単位以上、及びD又はFから4単位以上※3	必修科目「医学概論」4単位を含む※4				
平成26～27	18単位以上	18単位以上	3	4					
	うち2単位は現代社会適応科目群、拡大科目群（ただし、単位互換等科目を除く）で代替可能	数学、物理学、化学、生物学の4領域の中から少なくとも3領域を選び、必修科目「統計入門」2単位※1、「Introduction to Biochemistry - E2」2単位、及び選択必修科目8単位以上を含む計18単位以上※2							
医<人> (看護)	平成25～27	14単位以上	10単位以上	10単位以上	10単位以上	拡大科目群は卒業単位に算入されません	44単位以上	※自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群で特に履修を要望する科目については、（2）各学部の指示事項の一覧を確認すること	
			専攻で特に履修を要望する科目あり※	E6単位以上とDFCR I SKAのうちから1か国語4単位以上（初級・中級の組み合わせは自由）	平成25年度入学者は専攻で特に履修を要望する科目あり※				

学部	入学年	人文・社会科学系科目群	自然・応用科学系科目群	外国語科目群	現代社会適応科目群	拡大科目群	合計単位数	備 考
医 <人> (検査)	平成25 ～27	10単位以上	18単位以上	10単位以上		拡大科目群は卒業単位に算入 されません	44単位以上	※平成27年度入学者の自然・応用科学系科目群選 択必修科目、自然・応用科学系科目群、現代社会 適応科目群で特に履修を要望する科目について は、(2)各学部の指示事項の一覧を確認すること
		上記各科目群の必要単位数を満たしたうえで人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、 外国語科目群、現代社会適応科目群から自由に6単位以上						
医 <人> (理学・ 作業)	平成25 ～27	6単位以上	12単位以上	10単位以上	6単位以上	拡大科目群は卒業単位に算入 されません	44単位以上	※自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群 で特に履修を要望する科目については、(2)各 学部の指示事項の一覧を確認すること
		上記各科目群の必要単位数を満たしたうえで人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、 外国語科目群、現代社会適応科目群から自由に10単位以上						
薬	平成25 ～27	10単位以上	16単位以上	12単位以上	14単位以上	単位互換科目を除く	54単位以上	※自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群 で必修科目、選択必修科目、選択科目の区分は、 (2)各学部の指示事項の一覧を確認すること ※外国語科目群でEを履修する場合、8単位のう ち2単位については、薬学部提供の「科学英語 A・B」(必修)2単位を含むこと。「科学英語 A・B」単位未修得者は、(2)各学部の指示事 項参照。 ※日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
		必修科目6単位、選択必修科 目6単位以上、選択科目(必 修科目及び選択必修科目以 外の科目)4単位以上を含め計 16単位以上※	E8単位以上、およびDFC R I S K A日のうち、いずれ か1か国語4単位以上	必修科目10単位、選択科目 4単位以上を含め計14単位 以上※				
工 <地球工> 【国際コ ース以外】	平成25 ～27	12単位以上		11単位以上16単位まで	人文・社会科学系科目群(1 2単位以上)、現代社会適 応科目群(情報基礎[工学 部]、情報基礎演習[工学 部]を除く)、拡大科目群 (単位互換科目除く)から1 6単位以上20単位まで	人文・社会科学系科目群(1 2単位以上)、現代社会適 応科目群(情報基礎[工学 部]、情報基礎演習[工学 部]を除く)、拡大科目群 (単位互換科目除く)から1 6単位以上20単位まで	58単位以上	(※1)ただし、人文・社会科学系科目群から1 2単位以上。 (※2)自然・応用科学系科目群、現代社会適 応科目群で指定する科目については、(2)各学 部の指示事項の一覧を確認すること。 (※3)E7単位のうち1単位については、科学 英語(地球)等1単位を含むこと。日本語は外国 人留学生のみ選択することができる。
		人文・社会科学系科目群、現 代社会適応科目群(情報基礎 [工学部]、情報基礎演習 [工学部]を除く)、拡大科 目群(単位互換科目除く)か ら16単位以上20単位まで (※1)	自然・応用科学系科目群、現 代社会適応科目群(情報基礎 [工学部]、情報基礎演習 [工学部]のみ)で指定する 科目から31単位以上(※ 2)	E7単位以上、およびDFC R I S K A日のうちから1か 国語4単位以上(※3)	自然・応用科学系科目群、現 代社会適応科目群(情報基礎 [工学部]、情報基礎演習 [工学部]のみ)で指定する 科目から31単位以上(※ 2)			
工 <地球工> 【国際コ ース】	平成25 ～27			12単位以上16単位まで	人文・社会科学系科目群およ び拡大科目群(12単位以 上)、現代社会適応科目群 (情報基礎[工学部]、情報 基礎演習[工学部]を除 く)、拡大科目群(単位互換 科目除く)から16単位以上 20単位まで	人文・社会科学系科目群およ び拡大科目群(12単位以 上)、現代社会適応科目群 (情報基礎[工学部]、情報 基礎演習[工学部]を除 く)、拡大科目群(単位互換 科目除く)から16単位以上 20単位まで	59単位以上	※英語で提供される科目のみ単位認定される。た だし、スポーツ実習科目、日本人学生が履修する 第2外国語を除く。 (※1)ただし、人文・社会科学系科目群および 拡大科目群から12単位以上。 (※2)自然・応用科学系科目群、現代社会適 応科目群で指定する科目については、(2)各学 部の指示事項の一覧を確認すること。
		人文・社会科学系科目群、現 代社会適応科目群(情報基礎 [工学部]、情報基礎演習 [工学部]を除く)、拡大科 目群(単位互換科目除く)か ら16単位以上20単位まで (※1)	自然・応用科学系科目群、現 代社会適応科目群(情報基礎 [工学部]、情報基礎演習 [工学部]のみ)で指定する 科目から31単位以上(※ 2)	日6単位以上、Scientific English及びAdvanced Scientific Englishから6単 位以上 日本人学生は、日の代わりに DFC R I S K Aのうちから 1か国語6単位以上	自然・応用科学系科目群、現 代社会適応科目群(情報基礎 [工学部]、情報基礎演習 [工学部]のみ)で指定する 科目から31単位以上(※ 2)			

学部	入学年	人文・社会科学系科目群	自然・応用科学系科目群	外国語科目群	現代社会適応科目群	拡大科目群	合計単位数	備 考
工 〈建築〉	平成25 ～27	14単位	28単位以上	10単位以上	4単位以上8単位まで	4単位まで卒業単位として認定する。 国際交流科目、単位互換科目は認めない。	56単位以上	(※1) 「自然・応用科学系科目群」で学科が指定する科目、「現代社会適応科目群」で学科が推奨する科目については、(2) 各学部の指示事項の一覧を確認すること。 (※2) 「外国語科目群」のEでは、総合人間学部提供の英語Ⅰ・Ⅱのみ認める(科学英語等、総合人間学部以外が提供する英語は認めない)。 「外国語科目群」で日本語を選択できるのは外国人留学生のみ。 ※国際教育プログラム(KUINEP)科目は、「人文・社会科学系科目群」、「現代社会適応科目群」および「拡大科目群」で開講される科目から、1科目2単位までを卒業単位として認定する。 ※工学部地球工学科国際コースの科目は卒業に必要な単位として認定しない。
		3以上の系からそれぞれ2単位以上が望ましい	指定する科目から28単位以上 (※1)	E6単位以上、およびDFCRISKA日のうちから1か国語4単位以上 (※2)	情報系科目から3単位以上 (※1)			
工 〈物理工〉	平成25 ～27	16単位	30単位以上	10単位	(3単位推奨)	現代社会適応科目群(情報基礎[工学部]、情報基礎演習[工学部]を除く)、拡大科目群(単位互換等科目を除く)から4単位まで卒業単位として認定する(いずれの群もKUINEP科目を除く)	56単位以上 ※	※自然・応用科学系科目群で指定する科目については、(2) の一覧を確認すること。 ※外国語科目群で日本語を選択できるのは外国人留学生のみ。 ※自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群、拡大科目群と学部科目と合わせて98単位修得すること。
		KUINEP科目は6単位まで卒業単位として認定する	指定する科目から30単位以上※ KUINEP科目は4単位まで卒業単位として認定する	E6単位、およびDFCRISKA日のうちから1か国語4単位※	情報系科目のうち情報基礎[工学部]、情報基礎演習[工学部]を3単位まで履修することを特に推奨			
工 〈電気電子〉	平成25 ～27	16単位	30単位以上40単位まで	10単位以上14単位まで	3単位以上7単位まで	各群の上限は6単位とする。 拡大科目群の国際交流科目・単位互換等科目は認めない。	59単位以上 77単位まで	※自然・応用科学系科目群で指定する科目については、(2) 各学部の指示事項の一覧を確認すること。 ※外国語科目群のEでは、総合人間学部提供の英語Ⅰ・Ⅱのみ認める。科学英語等、総合人間学部以外が提供する英語は認めない。 ※外国語科目群で日本語を選択できるのは外国人留学生のみ。 ※国際教育プログラム(KUINEP)科目は、人文・社会科学系科目群のみ卒業単位として認定する。 ※地球工学科国際コースの科目は、人文・社会科学系科目群、外国語科目群では卒業単位として認定しない。ただし、外国人留学生については認めることもあるので、学科長に相談すること。 ※外国語科目群のR I K Aについては、開講時間が学科専門科目と重なる場合があるので履修を推奨しない。
		KUINEP科目については、2科目4単位までを認定する	指定する科目から30単位以上※ (うち2単位までは指定以外の自然・応用科学系科目群でもよい。)	E6単位以上、およびDFCRISKA日のうちから1か国語4単位以上を含む8単位まで※				
工 〈工業化学〉	平成25 ～26	16単位	28単位以上	10単位～11単位	選択(3単位まで)	選択(6単位まで)	61単位以上	※自然・応用科学系科目群で指定する科目については、(2) 各学部の指示事項の一覧を確認すること。 ※外国語科目群のEでは、総合人間学部以外が提供する他学部他学科提供の英語科目は認めない。 ※外国語科目群で日本語を選択できるのは外国人留学生のみ。 ※国際教育プログラム(KUINEP)科目は、1科目2単位まで、卒業に必要な単位数に含める。 ※工学部地球工学科国際コースの科目は卒業に必要な単位として認定しない。
		指定する科目から必修科目8単位及びその他科目20単位以上、計28単位以上※	E6～7単位[科学英語(創成化学)(工業基礎化学)(化学工学)は平成27年度より工学部科目(専門科目)2単位へ変更するが、取り扱いは全学共通科目外国語科目群1単位とする。]、およびDFCRISKA日のうちから1か国語4単位以上※	情報基礎[工学部]・情報基礎演習[工学部]のみ卒業に必要な単位として認める	スポーツ実習科目、少数教養科目(ポケット・ゼミ)のみ卒業に必要な単位として認める			
	平成27		10単位	E6単位、およびDFCRISKA日のうちから1か国語4単位※				

学部	入学年	人文・社会科学系科目群	自然・応用科学系科目群	外国語科目群	現代社会適応科目群	拡大科目群	合計単位数	備 考
工 〈情報〉	平成25	12単位以上	28単位以上	10単位	2単位以上	人文・社会科学系科目群（12単位以上）、現代社会適応科目群（情報系科目から2単位以上）、拡大科目群（ただし、単位互換等科目を除く）から合計17単位以上22単位まで履修すること	55単位以上	※自然・応用科学系科目群で指定する科目については、（2）各学部の指示事項の一覧を確認すること ※外国語科目群で日本語を選択できるのは外国人留学生のみ。
	平成26 ～27	上記の必要単位数を満たしたうえで、人文・社会科学系科目群、現代社会適応科目群（情報系科目から2単位以上）、拡大科目群（ただし、単位互換等科目を除く）から合計17単位以上22単位まで履修すること	指定する科目から28単位以上※	E6単位（数理工学コースでは「科学英語（数理）」を含めて7単位まで卒業単位数に算入）、およびDFCRISK日のうちから1か国語4単位以上10単位（数理工学コースでは最大11単位まで算入）	情報系科目から2単位以上を履修すること（計算機科学コースは指定する科目の必修2単位を含むこと）※ 情報系科目は最大8単位まで算入。 人文・社会科学系科目群（12単位以上）、現代社会適応科目群、拡大科目群（ただし、単位互換等科目を除く）から合計17単位以上22単位まで履修すること			
農 〈資源 生物〉	平成25 ～27	12単位以上	16単位以上	12単位以上	6単位以上	2単位以上	48単位以上	※自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群で推薦する科目については、（2）各学部の指示事項の一覧を確認すること。 ※外国語科目群でE8単位以上のうち2単位については、「科学英語（農学）A・B」各1単位を修得すること。「科学英語（農学）A・B」単位未修得者は、（2）各学部の指示事項参照。 ※外国語科目群で日本語を選択できるのは外国人留学生のみ。
	平成25 ～27	できるだけ多くの系から修得することが望ましい	推薦する科目から8単位以上を含むこと※	E8単位以上、およびDFCRISKA日のうちから1か国語4単位以上	推薦する科目を極力履修すること※	単位互換等科目を除く		
農 〈応用 生命〉	平成25 ～27	12単位以上	16単位以上	12単位以上	6単位以上	2単位以上	48単位以上	※自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群で推薦する科目については、（2）各学部の指示事項の一覧を確認すること。 ※外国語科目群でE8単位以上のうち2単位については、「科学英語（農学）A・B」各1単位を修得すること。「科学英語（農学）A・B」単位未修得者は、（2）各学部の指示事項参照。 ※外国語科目群で日本語を選択できるのは外国人留学生のみ。
	平成25 ～27	できるだけ多くの系から修得することが望ましい	推薦する科目から10単位以上を含むこと※	E8単位以上、およびDFCRISKA日のうちから1か国語4単位以上	推薦する科目を極力履修すること※	単位互換等科目を除く		
農 〈地域 環境〉	平成25 ～27	12単位以上	16単位以上	12単位以上	6単位以上	2単位以上	48単位以上	※自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群で推薦する科目については、（2）各学部の指示事項の一覧を確認すること。 ※外国語科目群でE8単位以上のうち2単位については、「科学英語（農学）A・B」各1単位を修得すること。「科学英語（農学）A・B」単位未修得者は（2）各学部の指示事項参照。 ※外国語科目群で日本語を選択できるのは外国人留学生のみ。
	平成25 ～27	できるだけ多くの系から修得することが望ましい	推薦する科目から10単位以上を含むこと※	E8単位以上、およびDFCRISKA日のうちから1か国語4単位以上	推薦する科目を極力履修すること※	単位互換等科目を除く		
農 〈食料・ 環境〉	平成25 ～27	12単位以上	12単位以上	12単位以上	4単位以上	2単位以上	48単位以上	※自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群で推薦する科目については、（2）各学部の指示事項の一覧を確認すること。 ※外国語科目群でE8単位以上のうち2単位については、「科学英語（農学）A・B」各1単位を修得すること。「科学英語（農学）A・B」単位未修得者は、（2）各学部の指示事項参照。 ※外国語科目群で日本語を選択できるのは外国人留学生のみ。
	平成25 ～27	できるだけ多くの系から修得することが望ましい	推薦する科目から8単位以上を含むこと※	上記以外で6単位 E8単位以上、およびDFCRISKA日のうちから1か国語4単位以上	推薦する科目を極力履修すること※ 現代社会適応科目群の健康科学系科目、拡大科目群の国際交流科目、スポーツ実習科目の単位については、合わせて4単位を上限とする。	単位互換等科目を除く。 現代社会適応科目群の健康科学系科目、拡大科目群の国際交流科目、スポーツ実習科目の単位については、合わせて4単位を上限とする。		

学部	入学年	人文・社会科学系科目群	自然・応用科学系科目群	外国語科目群	現代社会適応科目群	拡大科目群	合計単位数	備 考
農 〈森林〉	平成25 ～27	1 2 単位以上	1 6 単位以上	1 2 単位以上	6 単位以上	2 単位以上	4 8 単位以上	※自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群で推薦する科目については、(2)各学部の指示事項の一覧を確認すること。 ※外国語科目群でE 8 単位以上のうち2 単位については、「科学英語(農学) A・B」各1 単位を修得すること。「科学英語(農学) A・B」単位未修得者は(2)各学部の指示事項参照。 ※外国語科目群で日本語を選択できるのは外国人留学生のみ。
		できるだけ多くの系から修得することが望ましい	推薦する科目から1 0 単位以上を含むこと※	E 8 単位以上、およびDFC R I S K A 日のうちから1 か国語4 単位以上	推薦する科目を極力履修すること※	単位互換等科目を除く		
農 〈食品 生物〉	平成25 ～27	1 2 単位以上	1 6 単位以上	1 2 単位以上	6 単位以上	2 単位以上	4 8 単位以上	※自然・応用科学系科目群で推薦する科目については、(2)各学部の指示事項の一覧を確認すること。 ※外国語科目群でE 8 単位以上のうち2 単位については、「科学英語(農学) A・B」各1 単位を修得すること。「科学英語(農学) A・B」単位未修得者は、(2)各学部の指示事項参照。 ※外国語科目群で日本語を選択できるのは外国人留学生のみ。
		できるだけ多くの系から修得することが望ましい	推薦する科目から1 0 単位以上を含むこと※	E 8 単位以上、およびDFC R I S K A 日のうちから1 か国語4 単位以上		単位互換等科目を除く		

外国語科目群の略号は次の通りです。 E…英語、D…ドイツ語、F…フランス語、C…中国語、R…ロシア語、I…イタリア語、S…スペイン語、K…朝鮮語、A…アラビア語、日…日本語

## (2) 各学部の指示事項

全学共通科目の履修については、以下の各学部の指示によるほか、各学部の便覧等を必ず参照してください。

### 総合人間学部

#### 1. 履修登録コマ数の上限について

全学共通科目の履修登録コマ数の上限は、1開講期につき20コマです。ただし、集中講義は履修登録コマ数の上限には含まれません。

#### 2. 各群における指示事項

(1) 総合人間学部提供の全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『H(総合人間学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。なお、総合人間学部では全学共通科目の履修に関して、外国語科目群以外は修得すべき必要な単位数の定めはありません。詳細は「総合人間学部便覧」を参照してください。

#### (2) 外国語科目群について

外国語科目群の履修方法については、本冊子「5. 外国語の履修について」(p.45～)の内容に従って、科目を選択してください。

#### (3) 現代社会適応科目群情報系科目における履修推奨科目について

総合人間学部では、当学部生に対し、情報セキュリティの重要性を鑑みて、下表の〔講義科目〕及び〔実習・演習科目〕②を履修することを推奨します。〔実習・演習科目〕の①「コンピュータリテラシー実習」\*1は廃止されましたので、これから履修する場合は②「情報基礎演習 [全学向]」を履修してください。なお、これまでに「情報の科学 (理系向)」あるいは「情報の科学 (全学向)」を履修している場合は〔講義科目〕の「情報基礎 [全学向]」\*2を「情報の科学 (理系向)」あるいは「情報の科学 (全学向)」に、「情報ネットワーク (理系向)」あるいは「情報ネットワーク (全学向)」を履修している場合は〔講義科目〕の「情報ネットワーク」\*3を「情報ネットワーク (理系向)」あるいは「情報ネットワーク (全学向)」に読み替えてください。同様にこれまでに「コンピュータリテラシー演習」を履修している場合は〔実習・演習科目〕の「情報基礎演習 [全学向]」を「コンピュータリテラシー演習」に読み替えてください。

なお、履修時期については、できる限り1・2回生のうちに履修してください。

講義科目	情報基礎 [全学向] *2・情報ネットワーク*3	同じ名称の科目が複数開講されます。人間・環境学研究科の教員が担当する授業の履修を推奨します。
実習・演習科目	①コンピュータリテラシー実習*1 (H26年度より廃止) ②情報基礎演習 [全学向]	H26年度から履修する場合は、②の演習科目を履修してください。

#### (4) 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) 科目について

1科目2単位のみ卒業に必要な単位として認定します。

### 文学部

#### 1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

#### 2. 各群における指示事項

#### (1) 人文・社会科学系科目群について

「日本古代・中世政治文化論」(H28年度より廃止)、「日本古代・中世の歴史社会」(H28年度より廃止)、「日本史 I・II」、「中国歴史風土論」(H29年度不開講)、「中国歴史地理論」(H29年度不開講)、「西洋史 I・II」、「人文地理学各論 I～III」、「地域地理学各論 I～III」は全学共通科目として履修登録しますが、単位を修得した場合、文学部の学部科目(自由選択)として認定されます。

ただし、全学共通科目の必要単位が不足している場合、所定の手続きを経て全学共通科目人文・社会科学系科目群に変更することができます(本冊子「V. その他 1. 系列変更」(p.242)参照)。

## (2) 外国語科目群について

- ① 英語を修得する場合、8単位のうち2単位については、「文学部英語 A」・「文学部英語 B」（各1単位ずつ）を修得しなければなりません。なお、「文学部英語 A」・「文学部英語 B」は2科目2単位のみ卒業に必要な単位として認定され、原則として各自の所属する系（基礎現代文化学系は志望する専修）を対象とするクラスを履修しなければなりません。修得後に他系の専修に所属した場合、あらたに履修しなおす必要はありません。「文学部英語 A」の単位未修得者は「外国文献研究（文・英）A-E1」を、「文学部英語 B」の単位未修得者は「外国文献研究（文・英）B-E1」を履修し、単位を修得してください。但し、平成27年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。
- ② 英語以外の外国語を修得する場合、初級から4単位以上、中・上級から4単位以上を修得してください（「フランス語 I（8H コース）」は、16単位のうち4単位のみ、「ドイツ語 I（6H コース）」は、12単位のうち4単位のみ、「ドイツ語 II（6H コース）」、「フランス語 II（6H コース）」は、12単位のうち4単位のみ卒業に必要な単位として認めます）。なお、スペイン語 I（会話）は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。
- ③ 文学部の学部科目として開講している〔フランス語中級、上級〕を全学共通科目「フランス語ⅡA・ⅡB、ⅢA・ⅢB」の外国語科目群として履修する場合は、全学共通科目で履修登録（外国語予備登録も必要）してください。学部科目として履修する場合は、文学部での履修登録等の手続となりますので注意してください。
- ④ 工学部地球工学科国際コース向け科目は外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

## 教育学部

### 1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 2. 各群における指示事項

- (1) 入学試験を理系で受験した者には、次の科目を推奨します。  
「情報基礎 [全学向]・情報ネットワーク」、「情報基礎演習 [全学向]」
- (2) 工学部地球工学科国際コース向け科目は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。
- (3) スペイン語 I（会話）は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。
- (4) 「英語（教育科学）」の単位が1単位不足している場合は、「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」のいずれか1科目を履修し、単位を修得してください。「英語（教育科学）」の単位が2単位不足している場合は、「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」の両科目を履修し、単位を修得してください。但し、平成27年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

## 法学部

### 1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 2. 各群における指示事項

- (1) 法学部提供の全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『J（法学部）』となっている科目を履修する場合、学部専門科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部専門科目として履修登録してください。
- (2) 人文・社会科学系科目群  
法学部基礎演習は、法学部が法学部1回生に提供する教養科目です（後期に開講、2単位）。ただし、卒業に必要な単位数を計算する上では、全学共通科目の人文・社会科学系科目群の科目と同じに扱われます。
- (3) 外国語科目群
  - ① 英語8単位のうち2単位については、「法学政治学英語 I・II」（各1単位）の2単位で修得しなければなりません。「法学政治学英語 I」の単位未修得者は「外国文献講読（法・英）I-E1」を、「法学政治学英語 II」の単位未修得者

は「外国文献講読（法・英）Ⅱ-E1」を履修し、単位を修得してください。但し、平成27年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

- ② 「フランス語Ⅰ（8Hコース）」の修得単位数については、16単位のうち6単位のみ卒業に必要な単位として認めるので注意してください。
- ③ 工学部地球工学科国際コース向け科目は外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

## 経済学部

### 1. 履修登録コマ数の上限について

全学共通科目の履修登録コマ数の上限は、1開講期につき15コマです。ただし、集中講義は履修登録コマ数の上限には含まれません。なお、通年科目については、前期・後期の両方とも履修登録コマ数としてカウントされます。

### 2. 各群における指示事項

#### (1) 自然・応用科学系科目群について

数学は経済学の学習に必要な不可欠な科目であるため、下記①の講義を履修することを強く推奨します。また、理系入試による合格者及び理論経済学・統計学を専攻する予定の学生は、理学部・工学部学部指定の数学講義②を履修することを強く推奨します。数学の履修に関する質問があれば、入門演習の担当教員に相談することができます。

- ① 数学基礎（経済学一般の学習に最低限必要な数学力の修得を目指す）

数学基礎 A・B [文系]（8単位）を履修してください。

- ② 理系用数学講義（理論経済学・統計学を専攻する上で最低限必要な数学力の修得を目指す）

微分積分学（講義・演義）A・B（6単位）、線形代数学（講義・演義）A・B（6単位）を履修してください。

なお、2回生以上は担当教員の許可を得て履修登録してください。

- ②を履修した学生は、引き続き、微分積分学統論Ⅰ・Ⅱ（4単位）、線形代数学統論（2単位）も履修することを推奨します。

#### (2) 外国語科目群について

- ① 英語は、「英語Ⅰ」又は「英語Ⅱ」から6単位、「経済英語A・B」いずれか2単位を含む計8単位を修得してください。「経済英語A・B」の単位未修得者は、「外国文献研究（経・英）A・B-E1」を履修し、単位を修得してください。但し、平成27年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

- ② ドイツ語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉又は〈上級〉から4単位の計8単位を修得してください。

- ③ フランス語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉又は〈上級〉から4単位の計8単位を修得してください。「フランス語Ⅰ（8Hコース）」は、16単位のうち6単位のみ卒業に必要な単位として認めます。

- ④ スペイン語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉から4単位の計8単位を修得してください。

なお、スペイン語Ⅰ（会話）は、卒業に必要な単位に算入しません。

- ⑤ 中国語・ロシア語・イタリア語・朝鮮語・アラビア語は、〈初級〉から4単位、〈中級〉から4単位の計8単位を修得してください。

- ⑥ 日本語は、外国人留学生を対象とし、日本語上級※、「経済・経営日本語（上級）Ⅰ・Ⅱ」から計8単位を修得してください。

※ 平成29年度に開講される日本語上級の科目はp.63～を参照

## 理学部

### 1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 2. 指示事項

#### (1) 人文・社会科学系科目群について

人文・社会科学系科目群で開講される「哲学・思想」、「歴史・文明」、「芸術・文学・言語」、「教育・心理・社会」、「地域・文化」、「法・政治・経済」の各分野の科目を履修し、単位を修得した場合、それぞれ「哲学・思想」、「歴史・文明」、「芸術・言語文化」、「行動科学」、「地域・文化」、「社会科学」の各系の科目と読み替えます。

平成29年度から留学生向けに開講される「日本理解」分野の科目を履修し、単位を修得しても、単位修得が必要な3つ以上の異なる系の1つとしても、卒業に必要な単位としても認めません。

(2) 外国語科目群について

- ① 理学部において卒業までに必要とされる外国語科目群は「平成 25～27 年度入学者用 (1) 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」(p.212～217)の表のとおりとします。
- ② 理学部では、英語について、全学共通科目・外国語科目群の英語科目として開講されている、または外国語科目の英語として読み替えられる科目全てを、卒業要件を満たす科目として認めています。

ただし、平成 28 年度まで開講されていた「科学英語 (理学)」と「Frontiers and Paradoxes of Science」および平成 29 年度から開講される「科学コミュニケーション (理・英) -E3」は同一科目と見なし、いずれか一つしか卒業単位として認めないので、注意してください。(複数科目の単位を修得した場合は、後に修得した方は増加単位となり卒業単位としては認められません。)

- (3) 平成 29 年度の専門基礎科目は、理学部冊子『2017 (平成 29) 年度 教科の手引き』の「Ⅲ.系登録および卒業のための履修要件」のページを参照してください。

**医学部<医学科>**

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 自然・応用科学系科目群について

- ① 修得すべき各領域の科目指定表は、医学部医学科より別途配付します。
- ② 対象学生が「文系向」となっている科目、及び科目指定表記載の「数学」「物理学」「化学」「生物学」「その他」領域以外の科目については、医学部医学科では自然・応用科学系科目群として認められませんので、注意してください。
- ③ 必修科目

【平成 26、27 年度入学者】

科目名	単位数	備考
統計入門	2	1 回生クラス指定科目
Introduction to Biochemistry-E2	2	履修曜時限は医学部医学科より別途指定

【平成 25 年度入学者】

科目名	単位数	備考
統計入門	2	1 回生クラス指定科目 ※1

※1 「数理統計」未修得者は「統計入門」を履修してください。

④ 選択必修科目

【平成 27 年度入学者】

下記、講義科目①より 4 単位以上、講義科目②より 2 単位以上、実験・実習科目より 2 単位以上、合計 8 単位以上修得してください (◎は選択履修することを特に推奨する科目)。※2

	科目名	単位数	備考
講義科目①	物理学基礎論 A、物理学基礎論 B ☆	4	1 回生クラス指定科目
	基礎有機化学 I、基礎有機化学 II ☆	4	◎1 回生クラス指定科目
	個体と集団の基礎生物学、細胞と分子の基礎生物学 ☆	4	
	生化学入門、細胞と分子の基礎生物学 ☆	4	
講義科目②	Introduction to Molecular Biotechnology-E2	2	
	Principles of Genetics-E2	2	
実験・実習科目	基礎化学実験	2	◎1 回生クラス指定科目
	物理学実験	2	
	生物学実習 I	2	
	生物学実習 II	2	
	生物学実習 III	2	

☆の科目は両科目とも合格した場合のみ、選択必修科目の単位として認定します。

※2 平成 29 年度より数学基礎 I A・II A [理系] は廃止。

【平成 26 年度入学者】

下記、講義科目①より 4 単位以上、講義科目②より 2 単位以上、実験・実習科目より 2 単位以上、合計 8 単位以上修得してください (◎は選択履修することを特に推奨する科目)。※2

	科目名	単位数	備考
講義科目①	物理学基礎論 A、物理学基礎論 B ☆	4	1 回生クラス指定科目
	基礎有機化学 I、基礎有機化学 II ☆	4	◎1 回生クラス指定科目
	個体と集団の基礎生物学、細胞と分子の基礎生物学 ☆	4	
	生化学入門、細胞と分子の基礎生物学 ☆	4	
講義科目②	Introduction to Molecular Biotechnology-E2	2	
	Principles of Genetics-E2	2	
実験・実習科目	基礎化学実験	2	◎1 回生クラス指定科目
	物理学実験	2	
	生物学実習 I	2	
	生物学実習 II	2	
	生物学実習 III	2	

☆の科目は両科目とも合格した場合のみ、選択必修科目の単位として認定します。

※2 平成 29 年度より数学基礎 I A・I B・II A・II B [理系] は廃止。

#### 【平成 25 年度入学者】

下記、講義科目より 4 単位以上、実験・実習科目より 2 単位以上、合計 6 単位以上修得してください。(◎は選択履修することを特に推奨する科目)

	科目名	単位数	備考
講義科目	微分積分学 (講義・演義) A、微分積分学 (講義・演義) B ☆ ※3	6	
	線形代数学 (講義・演義) A、線形代数学 (講義・演義) B ☆ ※3	6	
	物理学基礎論 A、物理学基礎論 B ☆	4	1 回生クラス指定科目
	基礎有機化学 I、基礎有機化学 II ☆	4	◎1 回生クラス指定科目
	個体と集団の基礎生物学、細胞と分子の基礎生物学 ☆	4	
	生化学入門、細胞と分子の基礎生物学 ☆	4	
実験・実習科目	基礎化学実験	2	◎1 回生クラス指定科目
	物理学実験	2	
	生物学実習 I	2	
	生物学実習 II	2	
	生物学実習 III	2	

☆の科目は両科目とも合格した場合のみ、選択必修科目の単位として認定します。

※3 「微分積分学 A・B」、「線形代数学 A・B」の代わりに「微分積分学 (講義・演義) A・B」、「線形代数学 (講義・演義) A・B」を履修してください。

- ⑤ 「Introduction to Behavioral Neuroscience A・B-E2」の履修を推奨します。
- ⑥ 高校で生物を履修しなかった学生には、「個体と集団の基礎生物学、細胞と分子の基礎生物学」もしくは「生化学入門、細胞と分子の基礎生物学」の履修を推奨します。
- ⑦ 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) 科目は、卒業に必要な単位として認定しません。
- ⑧ 工学部地球工学科国際コース向け科目 (授業一覧の備考欄に [International Course] と記載のあるもの) の扱いについては、医学部医学科より別途配布する「修得すべき各領域の科目指定表」を参照すること。

#### (2) 外国語科目群について

- ① 英語は「科学英語 (医学)」2 単位を含む計 8 単位以上修得してください。  
「科学英語 (医学)」単位未修得者は、「臨床コミュニケーション (医・英) -E3」、「アカデミック・コミュニケーション (医・英) -E3」両科目を履修し、単位を修得してください。但し、平成 27 年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の 2 分の 1 のみ卒業に必要な単位として認められます。
  - ② 第 2 外国語はドイツ語、又はフランス語から次のとおり修得してください。  
    - ◇ ドイツ語を選択する場合  
「ドイツ語 I A (文法)・I B (文法)」と「ドイツ語 I A (演習)・I B (演習)」※を含む計 4 単位以上。
    - ◇ フランス語を選択する場合  
「フランス語 I A (文法)・I B (文法)」と「フランス語 I A (演習)・I B (演習)」※を含む計 4 単位以上。
- ※平成 28 年度より「ドイツ語 I A (実習)」、「ドイツ語 I B (実習)」、「フランス I A (実習)」、「フランス語 I B (実習)」は、「ドイツ語 I A (演習)」、「ドイツ語 I B (演習)」、「フランス I A (演習)」、「フランス語 I B (演習)」へ科目名変更。

(3) 現代社会適応科目群について

① 「医学概論」を含む計4単位以上修得してください。

※平成27年度末時点で「医学概論」未修得の学生は、履修にあたって別途医学部教務・学生支援室に確認してください。

② 「Introduction to Medical Psychology-E2」の履修を推奨します。

**医学部<人間健康科学科>**

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. その他の指示事項

(1) 平成28年度まで学部専門科目として開講されていた「リハビリテーション概論」の単位を修得している者が、平成29年度以降に全学共通科目「リハビリテーション概論」の単位を修得しても卒業に必要な単位として認めません。

(2) 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) 科目は、人文・社会科学系科目群のみ、卒業単位として認定します。

(3) 工学部地球工学科国際コース向け科目は、人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、および外国語科目群を、卒業に必要な単位として認定します。

3. 各専攻で特に履修を希望する科目

(1) 看護学専攻

【平成25年度入学者】

科目名	単位数	選択履修区分	群
人体のしくみと働き (H29 不開講)	2	◎	現代社会適応科目群
健康心理学Ⅱ	2	◎	同 上
生活と健康 (H29 不開講)	2	◎	同 上
生活習慣病入門 (H29 不開講)	2	○	同 上
情報基礎 [医学部]	2	○	同 上

◎ 印は選択履修することを強く要望する科目、○ 印は選択履修することを要望する科目

(2) 検査技術科学専攻

【平成27年度入学者】

科目名	単位数	選択履修区分	群
初修物理学 A または 物理学基礎論 A	2	◎	自然・応用科学系科目群
初修物理学 B または 物理学基礎論 B	2	◎	同 上
基礎化学実験	2	選必	同 上
物理学実験	2	選必	同 上
情報基礎 [医学部]	2	○	現代社会適応科目群
情報基礎演習 [医学部] ※2	2	○	同 上

【平成26年度入学者】

科目名	単位数	選択履修区分	群
初修物理学 A または 物理学基礎論 A	2	◎	自然・応用科学系科目群
初修物理学 B または 物理学基礎論 B	2	◎	同 上
基礎化学実験	2	◎	同 上
物理学実験 (又は生物学実習)	2	◎	同 上
統計入門	2	◎	同 上
情報基礎 [医学部]	2	○	現代社会適応科目群
情報基礎演習 [医学部] ※2	2	○	同 上

【平成25年度入学者】

科目名	単位数	選択履修区分	群
初修物理学 A または 物理学基礎論 A	2	◎	自然・応用科学系科目群
初修物理学 B または 物理学基礎論 B	2	◎	同 上
基礎化学実験	2	○	同 上

情報基礎 [医学部]	2	○	現代社会適応科目群
情報基礎演習 [医学部] ※	2	○	同上

選必 選択必修科目（どちらかの修得が卒業要件。両方の履修が望ましい。）

◎ 印は選択履修することを強く要望する科目、○ 印は選択履修することを要望する科目

※ 2単位科目として開講されるが、平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1単位のみ卒業に必要な単位として認定する

### (3) 理学療法学専攻・作業療法学専攻

#### 【平成26、27年度入学者】

科目名	単位数	選択履修区分	群
統計入門 (H27入学者のみ)	2	○ (理学のみ)	自然・応用科学系科目群

#### 【平成25年度入学者】

科目名	単位数	選択履修区分	群
人体のしくみと働き (H29不開講)	2	◎	現代社会適応科目群
健康心理学Ⅱ	2	○	同上

◎ 印は選択履修することを強く要望する科目、○ 印は選択履修することを要望する科目

## 薬学部

### 1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 2. 各群における指示事項

#### (1) 自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群について

必修科目、選択必修科目、選択科目の区分は、下表のとおりです。

区 分	科 目 名	単位数	備 考
必修科目	基礎物理化学 (熱力学)	2	薬学部開講科目 (自然・応用科学系科目群)
	基礎有機化学Ⅰ	2	同上 (同上)
	基礎有機化学Ⅱ	2	同上 (同上)
	「薬の世界」入門	2	薬学部開講科目 (現代社会適応科目群)
	健康・生命科学入門	2	同上 (同上)
	薬用植物学	2	同上 (同上)
	情報基礎 [薬学部]	2	同上 (同上)
	情報基礎演習 [薬学部]	2	同上 (同上)
選択必修科目	線形代数学 (講義・演義) A	3	(自然・応用科学系科目群)
	線形代数学 (講義・演義) B	3	(同上)
	物理学基礎論 A	2	(同上)
	物理学基礎論 B	2	(同上)
	熱力学	2	(同上)
	物理学実験	2	(同上)
	基礎化学実験	2	(同上)
	生物学実習Ⅲ	2	(同上)
選択科目	上記以外の科目		

(2) 平成29年度より数学基礎ⅠA・ⅠB [理系]、数学基礎ⅡA・ⅡB [理系] は廃止。また、線形代数学A・Bの代わりに線形代数学 (講義・演義) A・Bを履修してください。

(3) 平成26年度以降入学者について、自然・応用科学系科目群の「統計入門」(2回生配当) は履修することが望ましい。

(4) 自然・応用科学系科目群の選択必修科目の卒業必要単位数6単位を超えて修得したときの単位数は、同群選択科目の卒業必要単位数に算入します。

(5) 科目名変更に注意して登録してください。

(6) 外国語科目群の必修科目「科学英語A」の単位未修得者は「科学コミュニケーションの基礎と実践 (薬・英) A-E3」を、「科学英語B」の単位未修得者は「科学コミュニケーションの基礎と実践 (薬・英) B-E3」を履修し、単位を修

得してください。但し、平成27年度以前入学者が単位を修得した場合、単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認められます。

## 工学部<地球工学科>

### 1. 履修登録単位数の上限について

平成26年度以降入学者について、全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 2. 各群における指示事項

「各学部の修得すべき全学共通科目の単位数」の一覧表に示された各科目群に関する指示事項を下記に示します。ただし、その表に示された科目群は、平成27年度までの旧分類であり、平成28年度からは新しい科目群名称となっており、科目によっては所属する分類が大きく変わっている場合がありますので、注意して下さい。各授業科目の群分類は、p.210にその新旧の対応が記載されています。

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T(工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 人文・社会科学科目群、現代社会適用科目群、拡大科目群について

これらの科目群から人文・社会科学科目群12単位以上を含んで合計16単位以上20単位までを履修する必要があります(ただし、情報基礎[工学部]、情報基礎演習[工学部]は含められません)。各授業科目がこれらの旧科目群分類のどれに属するかはp.210で確認して下さい。

(3) 自然・応用科学系科目群について

平成28年度より「環境生物・化学」は、学部専門科目として開講されますので、学部科目として履修登録して下さい(ただし、修得単位は全学共通科目の自然・応用科学系科目群として認定されます)。

◇ 学科が指定する自然・応用科学系科目群

この表は平成28年度以降の新しい科目名で示しています。

科目名	単位	必選択等		科目名	単位	必選択等	
		土木・資源・環境	国際※			土木・資源・環境	国際※
自然現象と数学	2	◎	◎	基礎有機化学Ⅱ	2	○	—
微分積分学(講義・演義)A ※1	3	◎	◎	基礎化学実験	2	○	—
微分積分学(講義・演義)B ※1	3	◎	◎	図学A	2	○	—
線形代数学(講義・演義)A ※1	3	◎	◎	図学B	2	○	—
線形代数学(講義・演義)B ※1	3	◎	◎	微分積分学統論Ⅰ	2	◎	◎
基礎物理化学(熱力学)	2	◎	—	微分積分学統論Ⅱ	2	◎	◎
基礎物理化学(量子論)	2	◎	—	線形代数学統論	2	○	○
物理学基礎論A	2	◎	◎	振動・波動論	2	○	○
物理学基礎論B	2	◎	◎	無機化学入門A	2	○	—
熱力学	2	○	○	無機化学入門B	2	○	—
力学統論	2	○	○	生物自然史Ⅰ	2	○	—
物理学実験	2	○	—	生化学入門	2	○	—
基礎地球科学A ※2	2	○	○	細胞と分子の基礎生物学	2	○	—
基礎地球科学B ※3	2	○	—	地質工学入門	2	◎	◎
基礎有機化学Ⅰ	2	○	—				

◎ 印は、特に選択履修することを要望する科目

○ 印は、履修することを勧める科目

— 印は、卒業に必要な単位として認定しない科目

※1 「微分積分学A・B」、「線形代数学A・B」の代わりに「微分積分学(講義・演義)A・B」、「線形代数学(講義・演義)A・B」を履修すること。

※2 「基礎地球科学A(地球システムの構造と挙動)」及び「基礎地球科学A(宇宙誕生から現在まで)」は同一科目扱いのため、どちらか一方のみ卒業に必要な単位として認定する。

※3 「基礎地球科学B(地球システムの変動と変遷)」及び「基礎地球科学B(現在の地球環境の仕組み)」は同一科目扱いのため、どちらか一方のみ卒業に必要な単位として認定する。

(4) 外国語科目群（英語）における「科学英語（地球）」について

国際コース以外の学生には、英語は7単位（「科学英語（地球）」等を含む）の修得が定められています。平成28年度より「科学英語（地球）」は、学部専門科目（クラス指定）として開講されますので、学部科目として履修登録して下さい（ただし、修得単位は、全学共通科目の外国語科目群（英語）として認定されます）。

(5) 現代社会適用科目群における「情報基礎（工学部）」「情報基礎演習（工学部）」について

平成28年度からの新分類で情報学科目群に属する上記2科目は、(2)に示した「学科が指定した自然・応用科学系科目群の科目」と見なします。すなわち、それらとの合計で修得単位数31単位以上が卒業要件となっています。また、現代社会適用科目群の単位にはなりません。なお、「情報基礎演習（工学部）」は、平成28年度より2単位科目として開講されますが、平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1単位のみ卒業に必要な単位として認定されます。

※ 国際コースは、英語で提供される同コース向けの全学共通科目（(3)～(5)については、授業一覧の備考欄に「International Course」と記載のあるもの）のみ単位認定する。指定科目については、学部の履修要覧を参照のこと。

※ 国際コースの「Scientific English II (Presentation & Discussion)」の未修者が「Scientific English II-E3 (Presentation & Discussion)」を、「Advanced Scientific English (Debate)」の未修得者が「Advanced Scientific English-E3 (Debate)」を、それぞれ履修し、単位を修得した場合、外国語科目群の「Scientific English II (Presentation & Discussion)」、「Advanced Scientific English (Debate)」の単位として認定する。但し、各科目の単位数の2分の1のみ卒業に必要な単位として認める。

**工学部<建築学科>**

1. 履修登録単位数の上限について

平成26年度以降入学者について、全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T（工学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので、全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群について

◇ 学科が指定する自然・応用科学系科目群

科目名	単位数	必選等	科目名	単位数	必選等
自然現象と数学	2	◎	図学A	2	○
線形代数学（講義・演義）A ※1	3	◎	図学B	2	○
線形代数学（講義・演義）B ※1	3	◎	物理学実験	2	
微分積分学（講義・演義）A ※1	3	◎	基礎地球科学A ※2	2	
微分積分学（講義・演義）B ※1	3	◎	基礎地球科学B ※3	2	
物理学基礎論A	2	◎	確率論基礎	2	◎
物理学基礎論B	2		統計入門	2	○
振動・波動論	2	◎	数理統計	2	●
熱力学	2	◎	微分積分学統論I	2	◎
力学統論	2		微分積分学統論II	2	◎

◎ 印は、特に選択履修することを要望する科目

○ 印は、平成27年度入学者に対して、特に選択履修することを要望する科目

● 印は、平成26年度以前入学者に対して、特に選択履修することを要望する科目

※1 「微分積分学A・B」、「線形代数学A・B」の代わりに「微分積分学（講義・演義）A・B」、「線形代数学（講義・演義）A・B」を履修すること。

※2 平成26年度より「基礎地球科学IIA」は、「基礎地球科学IA」と科目統合され、「基礎地球科学A」が新規開講。「基礎地球科学IA」の単位を取得済みであっても、「基礎地球科学A」の単位を取得すれば、「基礎地球科学A」を卒業に必要な単位として認めるが、「基礎地球科学IIA」と「基礎地球科学A」の両方の単位を取得した場合は、「基礎地球科学IIA」のみを卒業に必要な単位として認める。

※3 平成26年度より「基礎地球科学IIB」は、「基礎地球科学IB」と科目統合され、「基礎地球科学B」が新規開講。「基礎地球科学IB」の単位を取得済みであっても、「基礎地球科学B」の単位を取得すれば、「基礎地球科学B」を卒業に必要な単位として認める。

科学B」を卒業に必要な単位として認めるが、「基礎地球科学ⅡB」と「基礎地球科学B」の両方の単位を取得した場合は、「基礎地球科学ⅡB」のみを卒業に必要な単位として認める。

◇ 学科が特に選択履修することを要望する現代社会適応科目群（情報系科目）

科目名	単位数	必選等	科目名	単位数	必選等
情報基礎 [工学部]	2	◎	情報基礎演習 [工学部]	2 ※	◎

◎ 印は、特に選択履修することを要望する科目

※ 2 単位数科目として開講されるが、平成 27 年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1 単位のみ卒業に必要な単位として認定する。

## 工学部<物理工学科>

### 1. 履修登録単位数の上限について

平成 26 年度以降入学者について、全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 自然・応用科学系科目群について

① 学科が指定する自然・応用科学系科目群

科目名	単位数	必選等	科目名	単位数	必選等
自然現象と数学	2	コースにより異なる	微分積分学統論Ⅰ	2	コースにより異なる
微分積分学 (講義・演義) A ※1	3		微分積分学統論Ⅱ	2	
微分積分学 (講義・演義) B ※1	3		電磁気学統論	2	
線形代数学 (講義・演義) A ※1	3		確率論基礎	2	
線形代数学 (講義・演義) B ※1	3		数理統計	2	
物理学基礎論 A	2		無機化学入門 A	2	
物理学基礎論 B	2		無機化学入門 B	2	
物理学実験	2		生物・生命科学入門	2	
基礎物理化学 (熱力学)	2		振動・波動論	2	
基礎物理化学 (量子論)	2		統計物理学	2	
図学 A	2		基礎有機化学Ⅰ	2	
基礎化学実験	2		基礎有機化学Ⅱ	2	
			力学統論	2	

※1 「微分積分学 A・B」、「線形代数学 A・B」の代わりに「微分積分学 (講義・演義) A・B」、「線形代数学 (講義・演義) A・B」を履修すること。

\* 必選等の詳細は入学年度の工学部履修要覧を参照してください。

(3) 現代社会適応科目群（情報系科目）情報基礎演習 [工学部] について

2 単位数科目として開講されるが、平成 27 年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1 単位のみ卒業に必要な単位として認定する。

## 工学部<電気電子工学科>

### 1. 履修登録単位数の上限について

平成 26 年度以降入学者について、全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群について

◇ 学科が指定する自然・応用科学系科目群（一部、現代社会適応科目群）※1

科目名	単位数	必選等	科目名	単位数	必選等
自然現象と数学	2	◎	確率論基礎	2	◎
微分積分学（講義・演義）A ※2	3	◎	数理統計	2	◎
微分積分学（講義・演義）B ※2	3	◎	数理論理学 A	2	
線形代数学（講義・演義）A ※2	3	◎	数理論理学 B	2	
線形代数学（講義・演義）B ※2	3	◎	熱力学	2	
物理学基礎論 A	2	◎	統計物理学	2	◎
力学統論	2	◎	振動・波動論	2	○
物理学実験	2	◎	量子物理学	2	
基礎有機化学 I	2		解析力学	2	
基礎有機化学 II	2		特殊相対論	2	
基礎化学実験	2		基礎物理化学（熱力学）	2	
線形代数学統論	2	◎	基礎物理化学（量子論）	2	
関数論	2	◎	無機化学入門 A	2	
微分積分学統論 I	2	◎	無機化学入門 B	2	
微分積分学統論 II	2	◎			
情報基礎 [工学部] *	2	◎	情報基礎演習 [工学部] *	2 ※3	◎

◎ 印は、選択履修することを要望する科目 ○ 印は、履修することを勧める科目

\* 印は、現代社会適応科目群

※1 平成 29 年度より「神経科学総論 A・B」は廃止

※2 「微分積分学 A・B」、「線形代数学 A・B」の代わりに「微分積分学（講義・演義）A・B」、「線形代数学（講義・演義）A・B」を履修すること。

※3 2 単位科目として開講されるが、平成 27 年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1 単位のみ卒業に必要な単位として認定する。

「情報基礎 [工学部]」、「情報基礎演習 [工学部]」については、電気電子工学科が指定するクラス外での履修は認めない。これら以外のクラス指定科目についても、指定されたクラスで受講すること。

**工学部<工業化学科>**

1. 履修登録単位数の上限について

平成 26 年度以降入学者について、全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 自然・応用科学系科目群について

◇ 学科が指定する自然・応用科学系科目群

科目名	単位数	必選等	科目名	単位数	必選等
自然現象と数学	2	◎	基礎有機化学 I	2	必
微分積分学（講義・演義）A ※	3	◎	基礎有機化学 II	2	必
微分積分学（講義・演義）B ※	3	◎	基礎化学実験	2	◎
線形代数学（講義・演義）A ※	3	◎	微分積分学統論 I	2	
線形代数学（講義・演義）B ※	3	◎	微分積分学統論 II	2	
統計入門	2		熱力学	2	
物理学基礎論 A	2	◎	振動・波動論	2	
物理学基礎論 B	2	◎	力学統論	2	
物理学実験	2	◎	解析力学	2	
基礎物理化学（量子論）	2	必			
基礎物理化学（熱力学）	2	必			

必 は必修科目 ◎ 印は、特に選択履修することを要望する科目

※ 「微分積分学 A・B」、「線形代数学 A・B」の代わりに「微分積分学（講義・演義）A・B」、「線形代数学（講義・演義）A・B」を履修すること。

- \* 基礎物理化学 (量子論)・(熱力学)、基礎有機化学 I・II を再履修する場合は、工業化学科の前年度と同じクラスで履修することが望ましい。(ただし、平成 26 以降入学者について、コース配属時には工業化学科クラス履修の成績のみ判定に使用する)

## 工学部<情報学科>

### 1. 履修登録単位数の上限について

平成 26 年度以降入学者について、全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 2. 各群における指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 自然・応用科学系科目群、現代社会適応科目群科目について

◇ 学科が指定する自然・応用科学系科目群 (一部、現代社会適応科目群)

科目名	単位数	コース別必修等		科目名	単位数	コース別必修等	
		計算機	数理			計算機	数理
自然現象と数学	2	◎	◎	微分積分学統論 I	2	◎	◎
微分積分学 A	4	◎	◎	微分積分学統論 II	2	○	◎
微分積分学 B	4	◎	◎	線形代数学統論	2	○	◎
線形代数学 A	2	◎	◎	熱力学	2	○	○
線形代数学 B	2	◎	◎	振動・波動論	2	○	○
物理学基礎論 A	2	◎	◎	確率論基礎	2	◎	◎
物理学基礎論 B	2	◎	◎	数理統計	2	◎	◎
物理学実験	2	◎	◎	数理論理学 A	2	○	○
力学統論	2	◎	◎	数理論理学 B	2	○	○
情報と社会 * ※	2	必	○	情報基礎実践 *	2	◎	◎

必 は、必修科目

◎ 印は、特に選択履修することを要望する指定科目

○ 印は、指定科目

\* 現代社会適応科目群

ただし、計算機科学コースでは平成 26 年度以前入学者について「確率論基礎」、「数理統計」を○指定とし、数理科学コースでは平成 25 年度入学者について「確率論基礎」、「数理統計」を○指定とします。

※ 「情報と社会 I」の単位未修得者は「情報と社会」を履修すること。

## 農学部<資源生物科学科>

### 1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 開講期につき 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 2. 学科が推薦する科目

#### ① 自然・応用科学系科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
微分積分学 (講義・演義) A ※	3	無機化学入門 A	2
微分積分学 (講義・演義) B ※	3	無機化学入門 B	2
線形代数学 (講義・演義) A ※	3	基礎有機化学 I	2
線形代数学 (講義・演義) B ※	3	基礎有機化学 II	2
物理学基礎論 A	2	個体と集団の基礎生物学	2
物理学基礎論 B	2	基礎化学実験	2
基礎物理化学 (熱力学)	2	遺伝学概論	2
基礎物理化学 (量子論)	2		

※ 平成 29 年度より数学基礎 I A・II A・I B・II B [理系] は廃止。代わりに「微分積分学 (講義・演義) A・B」、「線形代数学 (講義・演義) A・B」を履修すること。

② 現代社会適応科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	情報基礎演習 [農学部] ※	2

※ 2単位科目として開講されるが、平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1単位のみ卒業に必要な単位として認定する。

3. 平成29年度より「科学英語（農学）A・B」は廃止。代替科目については別途掲示します。

**農学部<応用生命学科>**

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 学科が推薦する科目

① 自然・応用科学系科目群 ※

科目名	単位数	科目名	単位数
確率論基礎	2	無機化学入門 A	2
物理学基礎論 A	2	無機化学入門 B	2
物理学基礎論 B	2	基礎化学実験	2
		個体と集団の基礎生物学	2

※ 平成29年度より数学基礎 IA・IIA・IB・IIB [理系] は廃止

② 現代社会適応科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	情報基礎演習 [農学部] ※	2

※ 2単位科目として開講されるが、平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1単位のみ卒業に必要な単位として認定する。

3. 平成29年度より「科学英語（農学）A・B」は廃止。代替科目については別途掲示します。

**農学部<地域環境工学科>**

1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

2. 学科が推薦する科目

① 自然・応用科学系科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
線形代数学（講義・演義）A ※	3	確率論基礎	2
線形代数学（講義・演義）B ※	3	物理学基礎論 A	2
微分積分学（講義・演義）A ※	3	物理学基礎論 B	2
微分積分学（講義・演義）B ※	3	物理学実験	2
数理統計	2		

※ 「微分積分学 A・B」、「線形代数学 A・B」の代わりに「微分積分学（講義・演義）A・B」、「線形代数学（講義・演義）A・B」を履修すること。

② 現代社会適応科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	情報基礎演習 [農学部] ※	2

※ 2単位科目として開講されるが、平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1単位のみ卒業に必要な単位として認定する。

3. 平成29年度より「科学英語（農学）A・B」は廃止。代替科目については別途掲示します。

## 農学部<食料・環境経済学科>

### 1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 2. 学科が推薦する科目

#### ① 自然・応用科学系科目群※1

科目名	単位数	科目名	単位数
微分積分学（講義・演義）A ※1	3	数学探訪Ⅰ	2
微分積分学（講義・演義）B ※1	3	数学探訪Ⅲ	2
線形代数学（講義・演義）A ※1	3	基礎有機化学Ⅰ※2	2
線形代数学（講義・演義）B ※1	3	基礎有機化学Ⅱ※2	2
確率論基礎	2	個体と集団の基礎生物学	2
数理統計	2	細胞と分子の基礎生物学	2

※1 平成29年度より数学基礎ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB〔理系〕は廃止。代わりに「微分積分学（講義・演義）A・B」、「線形代数学（講義・演義）A・B」を履修すること。

※2 平成27年度入学者は学科が推薦する科目とはならない。

#### ② 現代社会適応科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎〔農学部〕	2	情報基礎演習〔農学部〕※	2

※ 2単位科目として開講されるが、平成27年度以前入学者が履修し、単位を修得した場合、1単位のみ卒業に必要な単位として認定する。

### 3. 平成29年度より「科学英語（農学）A・B」は廃止。代替科目については別途掲示します。

## 農学部<森林科学科>

### 1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 2. 学科が推薦する科目

#### ① 自然・応用科学系科目群※1

科目名	単位数	科目名	単位数
微分積分学（講義・演義）A ※1	3	基礎有機化学Ⅰ	2
微分積分学（講義・演義）B ※1	3	基礎有機化学Ⅱ	2
線形代数学（講義・演義）A ※1	3	基礎化学実験	2
線形代数学（講義・演義）B ※1	3	個体と集団の基礎生物学	2
物理学基礎論A	2	細胞と分子の基礎生物学	2
物理学基礎論B	2	地質工学入門※2	2
物理学実験	2	水と緑と土の科学※3	2
基礎物理化学（熱力学）	2		
基礎物理化学（量子論）	2		

※1 平成29年度より数学基礎ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB〔理系〕は廃止。代わりに「微分積分学（講義・演義）A・B」、「線形代数学（講義・演義）A・B」を履修すること。

※2 平成25年度入学者に対して学科が推薦する科目として認定する。

※3 平成26年度以降入学者に対して学科が推薦する科目として認定する。

#### ② 現代社会適応科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎〔農学部〕	2	環境学	2
生存圏の科学概論Ⅰ	2		

### 3. 平成29年度より「科学英語（農学）A・B」は廃止。代替科目については別途掲示します。

## 農学部<食品生物科学科>

### 1. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1開講期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1開講期あたりの単位数としてカウントされます。

### 2. 学科が推薦する科目（自然・応用科学系科目群）

科目名	単位数	科目名	単位数
微分積分学（講義・演義）A ※1	3	基礎化学実験	2
微分積分学（講義・演義）B ※1	3	物理学基礎論 A ※2	2
線形代数学（講義・演義）A ※1	3	物理学基礎論 B ※2	2
線形代数学（講義・演義）B ※1	3	基礎物理化学要論 ※3,4	2
基礎物理化学（熱力学）※4	2	基礎有機化学 I ※3,5	2
基礎物理化学（量子論）※4	2		

※1 平成29年度より数学基礎ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB [理系]は廃止。代わりに「微分積分学（講義・演義）A・B」、「線形代数学（講義・演義）A・B」を履修すること。

※2 入学試験の一般入試の個別学力検査で物理を選択しなかった者に限り、「初修物理学A・B」で代えることができる。

※3 平成27年度入学者のみ推薦する科目として認める。

※4 「基礎物理化学（熱力学）」または「基礎物理化学（量子論）」を履修した場合、後に「基礎物理化学要論」を履修しても卒業単位には認められないので注意すること（増加単位になります）。

「基礎物理化学要論」を履修した場合、後に「基礎物理化学（熱力学）」および「基礎物理化学（量子論）」を履修しても卒業単位には認められないので注意すること（増加単位になります）。

同一開講期に「基礎物理化学（熱力学）」「基礎物理化学（量子論）」「基礎物理化学要論」を履修した場合は、「基礎物理化学（熱力学）」「基礎物理化学（量子論）」が卒業単位として認められます（「基礎物理化学要論」は増加単位になります）。

※5 既に「基礎有機化学 A」を履修した場合は、「基礎有機化学 I」を履修しても卒業単位には認められないので注意すること（増加単位になります）。

### 3. 平成29年度より「科学英語（農学）A・B」は廃止。代替科目については別途掲示します。